

令和6年度事務事業評価シート

1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	3	子育て・若者世帯の住宅取得補助金		
担当課	定住促進課		担当係	定住促進係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	1. 自然＋idea	(1) 土地利用		① 住みたいまち基山の創造(定住人口・人口増対策)
事業の概要	中学生以下の子どもがいる世帯又は、申請者もしくは配偶者のいずれかが40歳に到達していない世帯が基山町に定住することを目的として、新築住宅又は中古住宅を取得した場合に、補助金を交付する。			

2. 事業の実績(Do)

令和6年度に実施した取組内容			
交付件数:20件(内訳 町内:4件、町外16件) 転入者数:58人(うち中学生以下の子ども:27人)			
業務開始年度	平成28年度		
	令和6年度(予算)		令和6年度(決算)
総事業費	9,400 千円		8,800 千円
	内 補助金等	9,400 千円	8,800 千円

3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	本事業は、平成28年度の制度開始以降、令和6年度末までで808人の方が本制度を利用し転入されており、定住の促進と人口増加には一定の成果が出ていると感じている。
事業の課題・問題点	今後は若年層の人口増を図るため、多子加算等を検討し、町の課題解決につなげたい。

4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 本事業は定住促進と人口増加に一定の成果があるため、より効果的な事業となるよう多子加算等を検討しながら、今後も継続して実施していく。			

# 令和6年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要 (Plan)

事業	事業番号	事業名		
	4	結婚新生活支援事業		
担当課	定住促進課		担当係	定住促進係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	1. 自然＋idea	(1) 土地利用		① 住みたいまち基山の創造(定住人口・人口増対策)
事業の概要	新婚世帯に対する住居費と引越費用に係る支援を行うことで、新生活における経済的負担を軽減し、町内への定住の促進を図る。			

## 2. 事業の実績 (Do)

令和6年度に実施した取組内容				
交付件数: 7件(内訳 町外7件) 転入者数: 18人(うち中学生以下の子ども: 4人)				
業務開始年度	令和元年度			
	令和6年度(予算)		令和6年度(決算)	
総事業費	2,400	千円	1,847	千円
内 補助金等	2,400	千円	1,847	千円

## 3. 評価 (Check)

事業評価	
事業の成果・効果	本事業は令和元年度に開始し、初年度こそ交付件数3件(転入者数4人)にとどまったものの、対象要件の緩和を図りながら令和6年度では交付件数7件(転入者数18人)となり、定住の促進と人口増加には一定の成果が出ていると感じている。
事業の課題・問題点	今後は更なる定住促進を図るため、町広報・ホームページのほかSNS等も活用し、町内外の対象者へ広く制度の周知を図る必要がある。

## 4. 今後の事業の方向性 (Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 引き続き定住促進につながるよう、町内外の対象者へ更なる制度の周知を図りながら今後も継続して実施していく。			

# 令和6年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要 (Plan)

事業	事業番号	事業名		
	5	子育て・若者世帯の定住促進住宅事業		
担当課	定住促進課		担当係	定住促進係
総合計画基本計画の 位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	1. 自然+idea	(1) 土地利用		① 住みたいまち基山の創造(定住人口・人口増対策)
事業の概要	公民連携事業(PFI方式)による子育て・若者世帯の定住促進住宅(地域優良賃貸住宅:アモーレ・グランデ基山)の管理運営を行う。			

## 2. 事業の実績 (Do)

令和6年度に実施した取組内容				
本事業は、令和元年度より供用開始しており、施設の維持管理・運営については、指定管理者制度により町と事業契約を締結した特別目的会社(SPC)が実施している。(令和6年度末入居戸数29戸)				
業務開始年度	令和元年度			
	令和6年度(予算)		令和6年度(決算)	
総事業費	25,005 千円		25,005 千円	
	内 補助金等	0 千円	0 千円	

## 3. 評価 (Check)

事業評価	
事業の成果・効果	令和6年11月に1戸退去があったため令和6年度末時点は入居戸数29戸となっているが、入居開始からこれまでほぼ満室で運用を行っている。
事業の課題・問題点	今後も円滑に運営・維持管理できるよう、引き続き特定目的会社(SPC)と連携していく必要がある。

## 4. 今後の事業の方向性 (Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 今後は、入居者の満足度向上、入居率の維持及び計画的な施設の維持管理を行っていく。			

# 令和6年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要 (Plan)

事業	事業番号	事業名		
	7	移住促進情報発信事業		
担当課	定住促進課		担当係	定住促進係
総合計画基本計画の 位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	1. 自然＋idea	(1) 土地利用		① 住みたいまち基山の創造(定住人口・人口増対策)
事業の概要	基山町ホームページ内の移住に関するポータルサイトの運営を行うとともに、移住パンフレットやおもてなしマップなどにより、効果的に移住・定住推進に関する情報発信を行う。			

## 2. 事業の実績 (Do)

令和6年度に実施した取組内容					
町ホームページ内に移住ポータルサイト「基山ワンダー移住」を設置しており、本町への移住を検討されている方への情報発信を行った。町の魅力を効果的に発信するため、町内の個性豊かな各種店舗の情報と地図を掲載した「町内おもてなしマップ」を作成し、町民に改めて町の魅力を発見していただくとともに、町外から訪れていただいた方に対する「おもてなし」の向上を図った。					
業務開始年度		平成28年度			
		令和6年度(予算)		令和6年度(決算)	
総事業費		70	千円	59	千円
内 補助金等		35	千円	29	千円

## 3. 評価 (Check)

事業評価	
事業の成果・効果	移住ポータルサイトの運営により本町への移住を検討されている方への情報発信を行うことができた。また、「町内おもてなしマップ」を各公共施設や掲載店舗へ配布することにより、町内外の方へ基山町の情報発信を行うことができた。
事業の課題・問題点	移住ポータルサイトやおもてなしマップの情報を適宜更新していく必要がある。

## 4. 今後の事業の方向性 (Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価】 今後も移住ポータルサイト・おもてなしマップを活用した情報発信を行い、基山町で暮らす魅力や基山町の地域資源(ひと・モノ・場所)を活用した移住プロモーション活動を充実させ、移住定住の推進につなげていく必要がある。  【第2次評価】 移住ポータルサイトの情報更新を確実に実施すること。また、ターゲットを明確にした情報発信を行うこと。			

# 令和6年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要 (Plan)

事業	事業番号	事業名		
	8	移住体験住宅事業		
担当課	定住促進課		担当係	定住促進係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	1. 自然＋idea	(1) 土地利用		① 住みたいまち基山の創造(定住人口・人口増対策)
事業の概要	地元業者と大学生による共同事業により、町内の空き家等をリノベーションした移住体験住宅を活用し、実際の基山町での暮らしを体験していただくことにより、定住促進を行う。			

## 2. 事業の実績 (Do)

令和6年度に実施した取組内容				
令和6年度の移住体験住宅利用実績は25組61人の方が利用された。平成29年度事業開始からの累計では、168組418人の方の利用があり、20組の方が本町へ移住された。				
業務開始年度	平成29年度			
	令和6年度(予算)		令和6年度(決算)	
総事業費	451	千円	395	千円
内 補助金等	225	千円	197	千円

## 3. 評価 (Check)

事業評価	
事業の成果・効果	本施設は基山町の暮らしを実際に体験していただくための貴重な施設である。累計168組418人の利用者のうち20組の方が本町へ移住され、定住の促進と人口増加には一定の成果が出ていると感じている。
事業の課題・問題点	本事業は移住定住のひとつの手段として効果をもたらしているが、宮浦住宅においては雨漏り等の修繕が発生しており、修繕等維持管理に要する費用や耐用年数も鑑みながら、今後の継続について検討する必要がある。

## 4. 今後の事業の方向性 (Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 施設の維持管理を検討しつつ、引き続き定住促進につながるよう町外の方へ更なる制度の周知を図りながら今後も継続して実施していく。			

# 令和6年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要 (Plan)

事業	事業番号	事業名		
	14	住宅リフォーム助成事業		
担当課	定住促進課		担当係	定住促進係
総合計画基本計画の 位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	1. 自然+idea	(1) 土地利用		② 幸せ大家族化計画(二世帯・三世帯住宅の推奨)
事業の概要	国等が実施する、住宅リフォーム(同居のための二世帯・三世代住宅を含む)の助成制度の周知を行う。			

## 2. 事業の実績 (Do)

令和6年度に実施した取組内容				
定住促進課を相談窓口として開設している。また、町ホームページを活用し国における住宅リフォーム(同居のための二世帯・三世帯住宅を含む)の助成制度の周知を行った。				
業務開始年度	平成29年度			
	令和6年度(予算)		令和6年度(決算)	
総事業費	0 千円		0 千円	
	内 補助金等	0 千円	0 千円	

## 3. 評価 (Check)

事業評価	
事業の成果・効果	町ホームページを活用して、住宅リフォームの助成制度の周知を行うことにより、広く同居のための二世帯・三世帯住宅に対する理解促進を図ることができた。
事業の課題・問題点	二世帯・三世帯住宅に対する理解促進は図られているが、二世帯・三世帯住宅へのリフォームのニーズはまだ少数である。

## 4. 今後の事業の方向性 (Action)

事業の方向性	第1次評価	廃止	第2次評価	廃止
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価】 今後は、本町における住宅リフォームに対する助成事業の実施などを検討する必要がある。 【第2次評価】 今後は、本町における二世帯・三世帯への限定的なリフォームの助成は行わず、新たに長寿命化のための助成制度を検討すること。			

## 令和6年度事務事業評価シート

### 1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	18	ダブルジビエ活用プロジェクト		
担当課	商工観光課		担当係	観光係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	1. 自然＋idea	(1) 土地利用		④ 遊休農地の効果的な活用
事業の概要	農作物被害の原因となっているイノシシと耕作放棄地の拡大防止のために飼育されているエミューについて「ダブルジビエ」として利活用するための解体処理施設と連携体制を整備する。			

### 2. 事業の実績(Do)

令和6年度に実施した取組内容			
農作物へ被害をもたらす有害獣として捕獲されるイノシシと、耕作放棄地の課題を解決するために飼育されたエミューを広く活用していくための施設として稼働し、イノシシ64頭、エミュー152羽を解体処理した。			
業務開始年度	平成29年度		
	令和6年度(予算)		令和6年度(決算)
総事業費	2,000	千円	2,000 千円
	内 補助金等	100 千円	100 千円

### 3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	年間を通して予定数を超える処理を行っており、新たな加工品開発による有害獣及びエミューの活用がなされている。また、エミューの活用は地域資源の一つとして町の知名度向上に寄与し、地域活性化にも大きな効果をあげている。
事業の課題・問題点	野生獣特有の病原体等発生リスクと、野生獣であるため解体数量は捕獲頭数に影響され、需要と供給のバランスをコントロールすることが難しい。

### 4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 野生獣特有の病原体等が発生した場合の施設運営のガイドラインの整備が必要である。また、町のふるさと名物エミューについては、町の特産品としての認知度が向上していることから、今後もシティプロモーション手段の一つとして活用する。			

# 令和6年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要 (Plan)

事業	事業番号	事業名		
	37	雨水貯留タンク設置補助事業		
担当課	建設課		担当係	上下水道係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	1. 自然＋idea	(2) まちなみ環境		③ 協働による環境美化の推進
事業の概要	近年の集中豪雨による浸水被害の軽減対策の一環として、雨水の流出抑制及び有効利用を図るため、雨水を貯留タンク設置に対し補助要件に該当する場合に設置代金の一部を補助する。			

## 2. 事業の実績 (Do)

令和6年度に実施した取組内容				
雨水貯留タンク設置補助・・・1件の申請があり1件の補助を行った。 町ホームページや広報紙で周知を行っている。				
業務開始年度	平成27年度			
	令和6年度(予算)		令和6年度(決算)	
総事業費	60	千円	20	千円
内 補助金等	0	千円	0	千円

## 3. 評価 (Check)

事業評価	
事業の成果・効果	雨水の流出抑制および有効利用と水害防除に対する効果がある。
事業の課題・問題点	平成28年度以降は各年度の申請件数が平均0件～2件となっており、広報等により幅広く周知する必要がある。

## 4. 今後の事業の方向性 (Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価】 今後もホームページや広報紙だけでなく下水道展(ふれあいフェスタを含む)等において広報活動を行い、周知を図っていく。 【第2次評価】 制度の周知や事業の必要性の啓発を行うこと。			

# 令和6年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要 (Plan)

事業	事業番号	事業名		
	41	産業振興協議会事業支援		
担当課	商工観光課		担当係	商工係
総合計画基本計画の 位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	1. 自然+idea	(3) 集客拠点整備		① 基山の顔となる集客拠点の周辺整備
事業の概要	町内の特産品等(農産物、加工品等)の新たな手法(基山ふるさと名物市場・基山ふるさと応援通販・基山健康宅配等)による販路拡大により、生産振興と雇用拡大を図る。			

## 2. 事業の実績 (Do)

令和6年度に実施した取組内容				
オール基山で産業振興と地域ブランドづくりを目的に107名の会員により、事業推進部会、六次産業化推進部会、ブランディング部会と3つの部会で事業を実施した。				
業務開始年度	平成27年度			
	令和6年度(予算)		令和6年度(決算)	
総事業費	4,050	千円	4,050	千円
	内 補助金等	0	0	千円

## 3. 評価 (Check)

事業評価	
事業の成果・効果	事業推進部会では、主に基山ふるさと名物市場による町の情報発信及び町内特産品販売を行い15,650人の来客があり、六次産業化推進部会では里山サカキプロジェクトによる基山サカキの量産体制づくりや未利用柿を利用した商品開発を、ブランディング部会では町内の誘客施設である大興善寺や基山パーキングエリア、庁内スーパーマーケットでの主催イベントの実施や、年間13回の出展を行った。
事業の課題・問題点	協議会発足から10年が経ち、事業が活発化をしていることもあり、事務局の業務負担が増えているため、協議会の自立が課題である。

## 4. 今後の事業の方向性 (Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 協議会の自立化を検討しながら、事業を安定させるために、既存の事業を深掘りと検証を行いながら、更なる事業の深化を実現する。			

# 令和6年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要 (Plan)

事業	事業番号	事業名		
	46	図書館資料購入事業		
担当課	まちづくり課		担当係	図書館係
総合計画基本計画の 位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	1. 自然+idea	(3) 集客拠点整備		③ 集客拠点の連携による新たな魅力拡大
事業の概要	新聞・雑誌・図書資料・CD・DVD等の多様な資料や情報を収集し、保存、提供する。			

## 2. 事業の実績 (Do)

令和6年度に実施した取組内容				
令和6年度は5,819冊購入した。一般書は国内外の社会・経済状況の流れに沿う図書を中心に選書し、児童書は長く読み継がれている絵本・読み物の一部を買い替えることで、図書の鮮度や充実を図った。このうち利用者からの要望に対して、720件のリクエスト購入を行った。視聴覚資料 (CD・DVD) は、ジャンルのバランスを考慮し、映写会で上映できるよう上映権のあるものを中心に選定した。蔵書数には限りがあるため、資料的価値を考慮して除籍し、除籍した図書はブックリサイクルで住民に無料提供を行い、残った図書は古紙リサイクルにより、町の収入となっている。				
業務開始年度	平成28年度			
	令和6年度 (予算)		令和6年度 (決算)	
総事業費	12,994	千円	12,994	千円
内 補助金等	0	千円	0	千円

## 3. 評価 (Check)

事業評価	
事業の成果・効果	新聞・雑誌・図書資料について、利用者のニーズを広く情報収集し提供できており、来館者数・利用者数・貸出冊数とともに近年増加傾向にある。 視聴覚資料においては、県内図書館で利用減が多い中、当館の貸出数は増加している。
事業の課題・問題点	今後も多くの方に利用していただけるよう、町民満足度の高い魅力ある図書館であり続けていく必要がある。 オーディオブックは利用はあっているものの、まだ少数にとどまっているため、今後、ジャンルの検討や周知を図る必要がある。

## 4. 今後の事業の方向性 (Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 幅広い世代の学びの支援のため、利用者の声も反映しながら図書館にふさわしい選書を心掛け、資料の収集、保存、周知、提供を図っていく。			

# 令和6年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要 (Plan)

事業	事業番号	事業名		
	63	学校給食食材費補助金		
担当課	教育学習課		担当係	教育総務係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	2. 教育＋idea	(1) 学校教育		① 時代に適応した教育力の強化
事業の概要	原油価格・物価高騰等により影響を受けている給食食材費について、保護者の給食費負担額を増やすことなく安定した給食を提供するため、町内の小中学校に対して補助する。			

## 2. 事業の実績 (Do)

令和6年度に実施した取組内容			
食材費の価格高騰に対して一人当たりおよそ3,893円の補助を行った。そのことにより、保護者の負担を増やすことなく、給食の提供ができた。			
業務開始年度	令和4年度		
	令和6年度(予算)		令和6年度(決算)
総事業費	5,724	千円	5,375 千円
	内 補助金等	1,521 千円	1,521 千円

## 3. 評価 (Check)

事業評価	
事業の成果・効果	給食食材費の高騰に対して保護者の負担を増やすことなく、給食を提供できた。
事業の課題・問題点	給食食材費について、米の価格高騰もあり現在の給食費では賄うことができない。給食費の値上げについて検討するとともに、食材費補助の増額も検討する必要がある。

## 4. 今後の事業の方向性 (Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 令和7年度より給食費を値上げするが、値上げ分を町で補助することとし保護者負担が増えることがないようにする。			

# 令和6年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要 (Plan)

事業	事業番号	事業名		
	66	基山中プールろ過機全自動化改修事業		
担当課	教育学習課		担当係	教育総務係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	2. 教育+idea	(1) 学校教育		① 時代に適応した教育力の強化
事業の概要	安定したプール設備環境を図るためにプールろ過機の改修を行う。			

## 2. 事業の実績 (Do)

令和6年度に実施した取組内容				
水泳の授業について、今後の利活用方法や、水泳の授業の実施方法について、見直す検討を行った。				
業務開始年度	—			
	令和6年度(予算)		令和6年度(決算)	
総事業費	0	千円	0	千円
内 補助金等	0	千円	0	千円

## 3. 評価 (Check)

事業評価	
事業の成果・効果	今後のプールの利用について、プールの授業を外部へ委託することも含めて検討を実施した。
事業の課題・問題点	小学校の水泳の授業を民間に委託するため、使用しない基山小学校のプールを中学校で利用する。利用しない中学校のプールは解体することとする。

## 4. 今後の事業の方向性 (Action)

事業の方向性	第1次評価	廃止	第2次評価	廃止
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 中学校プールは解体するため事業を廃止する。			

# 令和6年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要 (Plan)

事業	事業番号	事業名		
	76	小学校放課後補充学習事業		
担当課	教育学習課		担当係	学校教育係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	2. 教育＋idea	(1) 学校教育		② 学校と地域の連携
事業の概要	主体的な学習の仕方を身に付けさせ、基礎的・基本的な学力の定着を図るため、小学3年生と小学6年生を対象に小学校補充学習事業を実施し学力向上を図る。			

## 2. 事業の実績 (Do)

令和6年度に実施した取組内容				
令和6年6月から令和7年2月までの間で、水曜日の放課後(年間各18回)に各小学校において、小学3年生と小学6年生を対象とし、民間塾に委託して算数の補充学習を実施した。基礎や発展など理解度別のプログラムを準備し、参加者全体の理解度の底上げを図り、また、児童の参加率向上や授業への集中を持続させるためにパズル問題などゲーム性を取り入れるなど工夫を行った。				
業務開始年度	平成28年度			
	令和6年度(予算)		令和6年度(決算)	
総事業費	7,920	千円	7,920	千円
内 補助金等	4,093	千円	4,093	千円

## 3. 評価 (Check)

事業評価	
事業の成果・効果	見直しテストやパズル問題などを取り入れて分かりやすく、児童が講師に質問しやすい雰囲気での授業が行われるため、児童の学習意欲が高まっている。
事業の課題・問題点	児童の理解度に応じたプログラムを構築できるよう努め、基礎的・基本的な学力定着に努めていきたい。

## 4. 今後の事業の方向性 (Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 財源措置が必要となるが、必要に応じて、対象学年の拡大や算数以外の教科の取り組みも検討していく。			

# 令和6年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要 (Plan)

事業	事業番号	事業名		
	90	町民会館管理運営事業		
担当課	まちづくり課		担当係	文化・スポーツ係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	2. 教育＋idea	(2) 基山式まなび		② まなびの場の創出
事業の概要	文化を通じて町民がふれあう場としての町民会館の維持管理・運営を行う。			

## 2. 事業の実績 (Do)

令和6年度に実施した取組内容				
令和6年度より町が直営管理している。令和6年度の町民会館は、町内外より年間4,381件、延べ130,634人の方にご利用いただき、事業としては、9月のアルモニア管弦楽団「オータムコンサート」では基山中学校吹奏楽部との合同演奏を行った。11月1日から3日まで「第44回基山町文化祭」を開催。12月のふ・れ・あ・いフェスタでは、きやま創作劇「永遠(トワ)に君思う」を公演し、900人の方にご来場いただきました。1月に「アイが大きい基山町音楽祭」を行い、音楽鑑賞による町民の意欲や幸福度の向上を促進を図った。また、住民の生涯学習推進を図るため、パソコン教室、タブレット教室、囲碁教室、生け花教室を開講し、延べ249人が参加した。				
業務開始年度		令和6年度		
		令和6年度(予算)		令和6年度(決算)
総事業費		55,250	千円	54,682 千円
内 補助金等		1,963	千円	1,958 千円

## 3. 評価 (Check)

事業評価	
事業の成果・効果	町民会館の利用者は前年度より9,000人程度増加している。イベントや生涯学習講座も予定通り開催することができ、多くの方が文化に触れ合うことができた。
事業の課題・問題点	イベントや生涯学習講座の周知不足。

## 4. 今後の事業の方向性 (Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 イベントや生涯学習講座をポスター・チラシだけでなく、SNS等を活用し周知する。			

# 令和6年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要 (Plan)

事業	事業番号	事業名		
	111	対馬交流事業		
担当課	教育学習課		担当係	ふるさと歴史のまち推進係
総合計画基本計画の 位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	2. 教育＋idea	(4) 文化財の利活用		② 歴史的文化財の周知と活用
事業の概要	平成29・30年に明治維新150年記念さが維新事業にて実施した対馬交流事業を今後実施する。本町と対馬市との歴史を啓発するとともに、交流意識をも醸成することをめざす。			

## 2. 事業の実績 (Do)

令和6年度に実施した取組内容				
事業未実施				
業務開始年度	平成29年度			
	令和6年度(予算)		令和6年度(決算)	
総事業費	0 千円		0 千円	
	内 補助金等	0 千円	0 千円	

## 3. 評価 (Check)

事業評価	
事業の成果・効果	基山町が、かつて対馬藩田代領であった歴史的資源を通じて、ふるさとの記憶を再確認・共有し、またアイデンティティやふるさとを愛する気持ちを醸成する機会となることが期待される。 さらに関係する民間団体との協働を行うことにより、多世代交流とともに地域全体の活性化にもつながることが期待される。
事業の課題・問題点	基山町・対馬市双方の事業化、および訪問を行うための財源の確保が必要不可欠となる。

## 4. 今後の事業の方向性 (Action)

事業の方向性	第1次評価	廃止	第2次評価	完了
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	<p>【第1次評価】 双方の事業化・予算化が困難であるため、廃止としたい。 ただし、対馬市との交流・連携を止めるわけではなく、対馬との歴史的つながりを伝える取り組みは継続して行い、古代山城サミットや賀島祭などで連携・交流を継続していくこととする。</p> <p>【第2次評価】 平成29・30年に事業は完了しているが、対馬市との交流・連携を止めるわけではなく、対馬との歴史的つながりを伝える取り組みは継続して行い、古代山城サミットや賀島祭などで連携・交流は継続して実施すること。</p>			

# 令和6年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要 (Plan)

事業	事業番号	事業名		
	116	農業次世代人材投資・経営開始資金事業		
担当課	農林課		担当係	農林係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	3. にぎわい+idea	(1) 農林業		① 農林業の維持管理の強化
事業の概要	次世代を担う農業者となることを志向する経営直後の新規就農者に対し、農業次世代人材投資資金又は経営開始資金を交付する。			

## 2. 事業の実績 (Do)

令和6年度に実施した取組内容					
農業次世代人材投資事業について、令和6年度は新規就農者の認定を受けた3名に対して、支援を行った。経営開始資金事業について、令和6年度は新規就農者の認定を受けた4名（うち新規2名）に対して、支援を行った。					
業務開始年度		平成29年度			
		令和6年度(予算)		令和6年度(決算)	
総事業費		8,850	千円	6,600	千円
内 補助金等		8,850	千円	6,600	千円

## 3. 評価 (Check)

事業評価	
事業の成果・効果	次世代を担う農業者となることを志向する経営直後の新規就農者に対し、就農直後の経営確立に資する農業次世代人材投資資金又は経営開始資金の交付を行った。令和6年度は、就農に関する相談や助言、関係機関等の調整を行い、新たに2名の新規就農者に対して、支援をすることが出来た。また、県、JA、農業委員会などの支援機関と新規就農者の農地の現地確認し、新規就農者に対して栽培や農業経営等に関するアドバイスなどの支援を行い、営農の継続や安定に資することが出来た。
事業の課題・問題点	生産性向上や規模拡大を希望する意欲的な新規就農者には、当補助金だけでは農業機械等の設備投資のための資金調達が難しく、耕作条件のよい農地の確保にも苦労している。また、当補助金の交付期間が終了した新規就農者の中には、農地や農業経営に改善が必要な者が出てきている。

## 4. 今後の事業の方向性 (Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 新規就農者には非農家出身の者も多いため、県、JA、農業委員会などの支援機関との連携を強化して、きめ細かな支援を行っていく。生産性向上や規模拡大を希望する意欲的な新規就農者に対しては、新規就農者の農業の業種・形態、意向や希望に合わせて国、県、町の補助事業を紹介し、申請などの支援を行っていく。併せて、高齢や後継者不在のために離農される農業者の農地の情報を収集し、新規就農者とのマッチングなどの支援を行っていく。また、新規就農者が地域農業の中心的な担い手になれるよう、当補助金の交付期間の終了後も、引き続き関係機関と連携しながら支援等を行っていく。			

# 令和6年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要 (Plan)

事業	事業番号	事業名		
	135	産業振興団体支援(公募型:農林業分)		
担当課	農林課		担当係	農林係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	3. にぎわい+idea	(1) 農林業		② 新しい農業の魅力づくり
事業の概要	公募により、自らの利益の拡大により基山町産業の振興を図り、もって地域社会に貢献すると認めた産業団体等に対し、補助金を交付する。			

## 2. 事業の実績 (Do)

令和6年度に実施した取組内容				
令和6年5月に補助金の公募を行い、認定農業者から提案のあった「水稻乾燥機及び保管用冷蔵庫購入、出荷用の自社ブランド米専用デザインの段ボール作成」について、採択し補助金の交付を行った。				
業務開始年度	平成29年度			
	令和6年度(予算)		令和6年度(決算)	
総事業費	2,000	千円	2,000	千円
内 補助金等	0	千円	0	千円

## 3. 評価 (Check)

事業評価	
事業の成果・効果	水稻乾燥機及び保管用冷蔵庫の導入により、認定農業者の規模拡大(1.3ha→5.9ha)に寄与することができた。また、自社ブランド米専用デザインの段ボールを作成したことで、付加価値向上を図ることができた。
事業の課題・問題点	農業分野では、新規就農者の補助金の応募が増えてきているが、既存の農業者の応募が少ない。

## 4. 今後の事業の方向性 (Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】引き続き、各団体等を通じて補助金の周知の徹底を図りつつ、既存の農業者のニーズや状況を把握し、活用しやすい補助金メニューを検討していく。			

# 令和6年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要 (Plan)

事業	事業番号	事業名		
	161	商店街にぎわいづくり事業		
担当課	商工観光課		担当係	商工係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	3. にぎわい+idea	(3) 商業		② 連携による魅力づくり
事業の概要	商店街や商工会と連携して、商店街にぎわいづくりの取組等を行い、中心市街地活性化を目指す。			

## 2. 事業の実績 (Do)

令和6年度に実施した取組内容					
町の中心市街地である4商店会をつなぐ集客イベントを企画し、まちの賑わいの創出を図り商業地としての魅力度向上や交流機会の拡大に繋げるための2つのイベントを実施した。					
業務開始年度		平成30年度			
		令和6年度(予算)		令和6年度(決算)	
総事業費		1,200千円		1,200千円	
内 補助金等		600千円		600千円	

## 3. 評価 (Check)

事業評価	
事業の成果・効果	10/13(日)にモール商店街及び基山駅前で実施した「ハロウィンキッズモデルコレクション」では約300人が、12/7(土)に4商店会を周遊する「キーワードを探そう。きやま街歩きクイズラリー」では約200人の集客があった。
事業の課題・問題点	駅前、モール商店街から他の3商店会に動線をつなぐ工夫が必要である。また、個店は家族経営が多いため、イベントに人員をあてることができず参加できない店舗がある。

## 4. 今後の事業の方向性 (Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 個店(事業者)が主体となって自らの商店会のにぎわいづくりに関わっていただけるか、事業者間のコミュニケーションやネットワーク作りが重要である。また、財源である交付金の交付期間が令和7年度までとなっているため、新たな財源の確保が必要である。			

## 令和6年度事務事業評価シート

### 1. 事業の概要 (Plan)

事業	事業番号	事業名		
	194	子どもの医療費助成事業		
担当課	こども課		担当係	こども家庭センター係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	4. 安心安全+idea	(1) 子育て支援		① 子育て支援の充実
事業の概要	町内に住所を有する0歳～18歳(18歳になって最初の3月31日まで)の保険診療分の医療費を全額助成する。			

### 2. 事業の実績 (Do)

令和6年度に実施した取組内容				
令和7年1月から久留米大学病院、聖マリア病院で現物給付を実施し、窓口での支払をなくした。				
業務開始年度	平成17年度			
	令和6年度(予算)		令和6年度(決算)	
総事業費	105,898	千円	101,410	千円
内 補助金等	17,690	千円	16,421	千円

### 3. 評価 (Check)

事業評価	
事業の成果・効果	安心して医療機関を受診できる環境を整備することで、子どもの健康の保持増進及び子育て世帯に係る経済的負担の軽減に寄与した。
事業の課題・問題点	県外医療機関(久留米大学病院・聖マリア病院は除く。)については、償還払いの対応となるため、受診後に申請してもらわなければならない、負担となっている。

### 4. 今後の事業の方向性 (Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 子どもの健康の保持増進及び子育て世帯に係る経済的負担の軽減を図るため、引き続き実施する。			

# 令和6年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	201	放課後児童対策事業		
担当課	教育学習課		担当係	学校教育係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	4. 安心安全+idea	(1) 子育て支援		② 基山の子育ての輪づくり
事業の概要	就労などにより保護者がいない家庭の児童(1年生～6年生)を、放課後から午後7時まで預かる。			

## 2. 事業の実績(Do)

令和6年度に実施した取組内容				
平成24年度から引き続き対象学年を6年生まで引き上げ、土曜日や長期休業時の開所を午前8時からとし開所時間を拡大して事業を実施。また、支援員・補助員への研修を実施した。				
業務開始年度	—			
	令和6年度(予算)		令和6年度(決算)	
総事業費	69,113	千円	65,425	千円
内 補助金等	46,168	千円	37,056	千円

## 3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	高学年の利用者が増えていることや宅地開発による利用者の増加に対応するため、小学校のランチルームや空き教室を活用した。
事業の課題・問題点	今後も開発等で利用児童の増加が見込まれるため、施設の利用方法等の検討が必要。 また、支援員・補助員の確保も難しくなっている。

## 4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 支援員の絶対数の確保のため、業務委託や派遣委託の検討も行い、労働条件や職場環境の向上も行っていく必要がある。 引き続き支援員・補助員の研修を実施していく。			

# 令和6年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要 (Plan)

事業	事業番号	事業名		
	202	放課後子ども教室事業		
担当課	教育学習課		担当係	学校教育係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	4. 安心安全+idea	(1) 子育て支援		② 基山の子育ての輪づくり
事業の概要	子どもたちの週末における様々な体験学習や地域住民との交流活動を支援するために実施する。			

## 2. 事業の実績 (Do)

令和6年度に実施した取組内容				
○土曜日実施分	シャボン玉・スライム工作、うちわ・ペットボトルピーズ工作、手作りおもちゃ、木工教室、クリスマス会、スポットテニス、クッキング 延べ7回実施 ※野外炊飯(雨天中止)			
○平日実施分	延べ参加児童 合計178名 「農業体験ツアー(アスパラガス収穫体験)」 延べ2回実施 「フライングディスク体験」 延べ2回実施 参加児童数 合計62名			
業務開始年度	平成29年度			
	令和6年度(予算)		令和6年度(決算)	
総事業費	385	千円	271	千円
内 補助金等	242	千円	256	千円

## 3. 評価 (Check)

事業評価	
事業の成果・効果	工作や軽スポーツ等様々な体験や活動を行い、全ての児童が放課後等を安全・安心に過ごすことができる居場所づくりができた。また、令和6年度は新たに農業体験に加えスポーツ体験を追加するなどの平日実施の充実を図った。青少年育成町民会議との共催、民生委員、児童委員の協力を得ることにより地域住民との交流を深めることができた。
事業の課題・問題点	今後も楽しめる内容を検討しながら新たな事業メニューを取り入れていきたい。

## 4. 今後の事業の方向性 (Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 随時事業メニューについて検証を行い、地域住民との交流活動をはかるため、町内で活躍されている方を講師に迎え事業の充実を図っていきたい。			

# 令和6年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要 (Plan)

事業	事業番号	事業名		
	205	ブックスタート事業		
担当課	まちづくり課		担当係	図書館係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	4. 安心安全+idea	(1) 子育て支援		② 基山の子育ての輪づくり
事業の概要	乳児相談の際に事業趣旨説明及び読み聞かせ体験を行う。赤ちゃん用絵本2冊等の配布も行い、乳幼児期からの読書に繋げる。			

## 2. 事業の実績 (Do)

令和6年度に実施した取組内容				
年6回、保健センターでの7・8カ月児健診時に、赤ちゃんとその保護者を対象に、絵本の読み聞かせ体験とその必要性の説明を行い、ブックスタートパック(コットンバックに絵本2冊とアドバイス集入り)と図書館の利用案内などの配布を行った。当日の欠席者には図書館に来館いただき、随時対応している。				
業務開始年度	平成19年度			
	令和6年度(予算)		令和6年度(決算)	
総事業費	166	千円	166	千円
内 補助金等	0	千円	0	千円

## 3. 評価 (Check)

事業評価	
事業の成果・効果	子どもの読書活動スタートとして、ブックスタート事業は有効で効果的な事業である。この事業をととして子ども達への読書の必要性や図書館のPRができ、親子での利用やお話会への参加に繋がっている。お話会に参加いただくことにより、同世代の子を持つ親同士の交流に繋がり、子育ての輪づくりになっている。
事業の課題・問題点	ブックスタート事業をはじめ、子どもの読書活動推進は重要な事業であり、児童サービスに専念できる職員の配置が望まれる。 乳幼児健診時にアンケート調査を行うことにより、事業の評価と、町民ニーズを把握することも必要。

## 4. 今後の事業の方向性 (Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 今後も事業を続けていくことで、子どもの読書習慣の育成に努める。親子で本を読んだり、参加できる事業を増やすことで、地域の人材育成、町の活性化に繋げる。 乳幼児健診時にアンケート調査を行い、事業の評価と、町民ニーズを把握する。			

# 令和6年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要 (Plan)

事業	事業番号	事業名		
	215	健康ポイント事業		
担当課	プラチナ社会政策課、健康増進課		担当係	高齢福祉係、健康増進係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	4. 安心安全+idea	(2) 高齢者支援		① 安心できる高齢者支援
事業の概要	高齢者の健康寿命を延ばし、生活の質を高めることを目的に、介護予防・健康増進事業等に参加した方に健康ポイントを付与する。貯めた健康ポイントは、町内の商店街等で利用でき、健康促進と商業振興を図る。			

## 2. 事業の実績 (Do)

令和6年度に実施した取組内容					
高齢者の健康寿命を延ばし、生活の質を高めることを目的に、介護予防・健康増進事業等に参加した方に健康ポイントを付与する。貯めた健康ポイントは、きのくにポイントに交換できる。きのくにポイントは町内の基山シール会加盟店舗で利用できるため、介護予防・健康増進と商業振興に繋げている。令和6年度は467,400ポイント(延べ4,674人)がきのくにポイントへ交換された。					
業務開始年度		平成29年度			
		令和6年度(予算)		令和6年度(決算)	
総事業費		383	千円	283	千円
内 補助金等		50	千円	50	千円

## 3. 評価 (Check)

事業評価	
事業の成果・効果	ポイント交換数は年々増加しており、健康ポイントの認知度も向上している。また、大人の心体測定(介護予防健診)や新規で健康ポイント事業に参入する任意団体(運動事業実施団体)も増加しており、介護予防、健康意識の向上及び健康保持・増進に大きく寄与している。
事業の課題・問題点	町内で買い物をしない方にとってはポイント付与がメリットになっていない。 ポイントを付与するために、町の介護予防事業では磁気カードおよびカードリーダーを使用しているが、導入から5年を経過し、耐用年数を超え、カードリーダーに動作異常等が生じているため、更新または見直しが必要になっている。

## 4. 今後の事業の方向性 (Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 利用者拡大に向け、介護予防、健康増進事業等で関連できるような事業の検討や、きのくにポイントへの交換だけでなく、基山シール会加盟店舗の商品との現物交換等、利用者の意欲向上及び商業の推進を図る方法を検討していく。 ポイント付与の方法については、デジタル化を前提に置きながらも、高齢者をはじめ、幅広い世代が簡易的に取り組める方法を検討していく。			

## 令和6年度事務事業評価シート

### 1. 事業の概要 (Plan)

事業	事業番号	事業名		
	222	徘徊高齢者等安心安全ネットワーク事業		
担当課	プラチナ社会政策課		担当係	高齢福祉係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	4. 安心安全+idea	(2) 高齢者支援		① 安心できる高齢者支援
事業の概要	認知症等のために徘徊が見られる高齢者等を早期に発見できるよう、関係機関の支援体制を構築する。また、所在不明となった徘徊高齢者等の居場所を発見できる位置探索端末機を貸与し、徘徊高齢者等の安全の確保及びその家族の不安の解消に努める。			

### 2. 事業の実績 (Do)

令和6年度に実施した取組内容			
令和6年度には4名の方が当該事業の登録を行った。登録した方に関して、この事業を活用する事例はなかったが、当該事業を実施することで、早期発見・保護に繋がることから、徘徊高齢者等の安全確保に繋げるための体制の構築及びその家族の不安の解消を図った。			
業務開始年度	平成26年度		
	令和6年度(予算)		令和6年度(決算)
総事業費	24	千円	0 千円
	内 補助金等	0 千円	0 千円

### 3. 評価 (Check)

事業評価	
事業の成果・効果	台帳に登録することで、高齢者の情報を把握し、警察機関と情報共有を行うことで、対象者の行方不明時における早期発見・保護につながるため、対象者の安全確保及び当該家族等の不安の解消を図った。
事業の課題・問題点	認知等の度合いによっては位置端末装置を持たないまま外出されることも考えられる。また、近年ではカメラやセンサー等の見守りシステムが充実しており、位置探索端末機の貸与までは至っていない。

### 4. 今後の事業の方向性 (Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 令和5年度から見守りシール交付事業を開始し、行方不明になる可能性がある高齢者等に対して本事業への登録と共に、衣服や所持品にQRコードを貼付することで、早期発見・保護に繋がるような体制を構築した。探索端末機の貸し出しについては、他のサービス等を調査しながら、見直しを図っていく。			

# 令和6年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要 (Plan)

事業	事業番号	事業名		
	253	健康増進事業		
担当課	健康増進課		担当係	健康増進係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	4. 安心安全+idea	(4) 健康・医療		① みんなが元気なまちへ(健康づくりの強化)
事業の概要	基本健診、各種がん検診、歯周疾患検診の実施により、町民の健康増進を図る。			

## 2. 事業の実績 (Do)

令和6年度に実施した取組内容				
生活習慣病等の早期発見及び予防を図るため、特定健診対象者以外(16歳以上40歳未満、生活保護受給者)の方々に対し、基本健康診査を実施した。(18日間) がんを早期に発見し、適切な治療につなげるため、対象年齢の方々に対し、各種がん検診(集団)を実施した。(各種がん検診18日間、婦人がん検診9日間) 歯周病の有無や進行状況を詳しく調べるため、対象年齢の方々に対し、歯周疾患検診を実施した。				
業務開始年度	令和元年度			
	令和6年度(予算)		令和6年度(決算)	
総事業費	20,712	千円	18,338	千円
内 補助金等	3,381	千円	2,766	千円

## 3. 評価 (Check)

事業評価	
事業の成果・効果	基本健康診査については46人、各種がん検診(集団)については前立腺がん検診633人、胃がん検診610人、大腸がん検診1,272人、肺がん検診1,443人、子宮がん検診715人、乳がん検診1,040人の受診となり、町民の方々の健康増進を図ることができた。 歯周疾患検診については76人の受診となり、歯周疾患に対する適切な処置や歯周病予防につなげることができた。
事業の課題・問題点	基本健康診査については国保被保険者については自己負担金として2,000円、それ以外の方については実費を徴収しているため、負担感が大きく受診につながっていない。 歯周疾患検診については多忙さや無症状であることを理由として受診につながらないケースが多いと思われる。

## 4. 今後の事業の方向性 (Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 基本健康診査については自己負担金無料化の検討を行い、受診がしやすい環境を整備することにより、生活習慣病等の早期発見及び予防及び健診受診の習慣化を目指し、将来の受診率向上及び医療費の適正化を図ることが必要である。 歯周疾患検診については口腔の健康と全身の健康の関係等、歯周病に係る情報について、積極的な情報発信を行い、受診率向上を図る必要がある。			

令和6年度事務事業評価シート

1. 事業の概要 (Plan)

事業	事業番号	事業名		
	275	地域担当職員制度		
担当課	まちづくり課		担当係	協働推進係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	5. 協働+idea	(1) まちの結束		① コミュニティ活動の推進
事業の概要	地域課題の円滑な解決を支援することにより、地域と行政の協働のまちづくりの一層の推進を図る。			

2. 事業の実績 (Do)

令和6年度に実施した取組内容			
各区で実施される運営委員会等への参加や、区内のおたずねや困りごとを傾聴し、担当課につなぐ等、地域と行政をつなぐパイプ役となり、地域と積極的なコミュニケーションを図り、地域課題の解決を図った。			
業務開始年度	平成24年度		
	令和6年度(予算)		令和6年度(決算)
総事業費	415	千円	415 千円
	内 補助金等	0 千円	0 千円

3. 評価 (Check)

事業評価	
事業の成果・効果	支援回数:115回 支援人数(延べ):164名 運営委員会等での傾聴活動及び意見交換、町長懇談会への出席、自主防災会議へ出席し、地域活動の支援を行った。
事業の課題・問題点	地域の代表者等の変更があっても、制度についての理解や、信頼関係の継続を円滑に行うため地元職員の配置に努めている。

4. 今後の事業の方向性 (Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 今後も地域と積極的なコミュニケーションを図り、地域との信頼関係の醸成・地域課題の把握と解決に努めていく。 運営委員会等出席後に地域担当職員から報告があったものについて、関係各課には伝えているが、今後は、他地区の地域担当職員にも班長や主任を通じて情報共有を行っていく。			

# 令和6年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要 (Plan)

事業	事業番号	事業名		
	277	まちづくり基金積立事業		
担当課	まちづくり課		担当係	協働推進係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	5. 協働+idea	(1) まちの結束		① コミュニティ活動の推進
事業の概要	自動販売機を「まちづくりのための募金箱」という考えのもとに企業が行う地域支援事業で、売上金の一部を寄附金として受ける。			

## 2. 事業の実績 (Do)

令和6年度に実施した取組内容				
令和6年度には2,185,294円の寄附があり、5団体補助金総額800,000円であった。				
業務開始年度	平成20年度			
	令和6年度(予算)		令和6年度(決算)	
総事業費	2,189	千円	2,189	千円
	内 補助金等	0	0	千円

## 3. 評価 (Check)

事業評価	
事業の成果・効果	自発性に基づき、自立的、継続的に地域社会に役立つ活動をしており、「協働のまちづくり」の振興ができています。
事業の課題・問題点	平成28年度から令和4年度の間、補助金総額が寄附金を上回っており、基金運用に不安があったが、令和5年度以降は補助金総額が少なくなり健全運用ができています。今後も補助金総額と寄附金とのバランスについて注視し、適正な基金運用を考えていく。

## 4. 今後の事業の方向性 (Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 平成28年度から令和4年度の間、補助金総額が寄附金を上回っており、基金運用に不安があったが、令和5年度以降、適正な基金運用ができています。今後、基金収入と補助金総額とのバランスをみながら運用を行っていく必要があります。			

# 令和6年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要 (Plan)

事業	事業番号	事業名		
	278	まちづくり基金事業		
担当課	まちづくり課		担当係	協働推進係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	5. 協働+idea	(1) まちの結束		① コミュニティ活動の推進
事業の概要	まちづくり基金を利用し、町内で活動するまちづくり団体に対して補助を行う。また、既存のまちづくり基金事業の見直し作業の中で、まちづくり計画認定団体や各区のサロン活動の活性化につながる支援制度化を図る。			

## 2. 事業の実績 (Do)

令和6年度に実施した取組内容				
令和6年度は、5件の申請に対し5件採択(内新規0件)し、補助金の交付を行った。				
業務開始年度	平成20年度			
	令和6年度(予算)		令和6年度(決算)	
総事業費	820	千円	810	千円
内 補助金等	0	千円	0	千円

## 3. 評価 (Check)

事業評価	
事業の成果・効果	まちづくり団体(5団体)が、自主的に公益的な事業を行った。
事業の課題・問題点	令和3年度から4年度の期間は、コロナ等の影響により自販機の売上げが減ったことで寄附金が減って基金の額が減少していたが、令和5年度から寄附金が増えてきており、健全な基金運用ができています。 基本的に補助期間は3年間、期間終了後に特例継続事業としてさらに3年間の補助期間を設けている。今後もこの事業について、広く町民に広報を行い、自立的・継続的に地域社会に役立つ活動を行う営利を目的としない「まちづくり組織」を支援していく必要がある。

## 4. 今後の事業の方向性 (Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 寄附金はコロナ前の額に戻ってきており、また、まちづくり団体の申請数も落ち着いていることで適正な基金運用ができています。今後も、基金収入と補助金申請団体数とのバランスをみながら運用を行っていく必要があります。 町内で活動するまちづくり団体に補助金の交付を行い、地域の課題やより良い住民生活を送るための活動が自主的・継続的に行えるように今後も支援していく必要があります。			

# 令和6年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要 (Plan)

事業	事業番号	事業名		
	287	文書管理事業		
担当課	総務課		担当係	文書法令係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	5. 協働＋idea	(3) 情報公開		① 開かれた情報公開
事業の概要	情報公開や個人情報保護制度を支える文書管理の適正化を図るための事業を行う。			

## 2. 事業の実績 (Do)

令和6年度に実施した取組内容				
<p>基山町の情報公開及び個人情報保護制度の運用状況について、個人情報審査会委員及び情報公開審査会委員に報告を行った。</p> <p>令和6年度は情報公開の請求が221件、個人情報開示請求が7件あった。</p> <p>公文書の管理を、全課共通の方法(文書ファイリングシステム)を用いることにより適正に行った。</p> <p>電子システムを用いることにより、職員の技量(経験)に頼らない例規等の作成・管理を行った。</p>				
業務開始年度	平成14年度			
	令和6年度(予算)		令和6年度(決算)	
総事業費	17,243	千円	16,722	千円
内 補助金等	0	千円	0	千円

## 3. 評価 (Check)

事業評価	
事業の成果・効果	<p>ここ数年で情報公開請求の請求件数が年200件を超えるようになり、制度の周知が図られてきている。</p> <p>文書ファイリングシステムにより、職員誰もが業務に必要な公文書を検索・利用できている。</p>
事業の課題・問題点	<p>システムで管理する行政情報が増え、電磁的記録の公開請求も増えつつある。これらの電磁的記録の中には、他市町村でオープンデータとして公開しているものや、手数料条例の対象となっているものもあるので、本町においても、検討していく必要がある。</p> <p>事務量の増加とともに保存する公文書が増えてきており、文書庫内の保存場所が埋まってきている。</p> <p>文書ファイリングシステムが構築されて20年以上の年数がたっており、制度を十分に理解していない職員が増えてきたため、研修等で制度の周知を図っていく必要がある。</p>

## 4. 今後の事業の方向性 (Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	<p>【第1次評価・第2次評価】</p> <p>公文書の情報公開について、公表できる情報は電子化を図りホームページ等で自由に閲覧等できるように検討し、事務手続きの簡素化を近隣自治体を参考に研究していく。</p> <p>文書ファイリングシステムの研修を行い、職員への制度の習熟を図っていく。</p>			

令和6年度事務事業評価シート

1. 事業の概要 (Plan)

事業	事業番号	事業名		
	291	財政運営の健全化の推進		
担当課	財政課		担当係	財政係
総合計画基本計画の 位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	5. 協働+idea	(4) 行財政		① 安定した行財政運営
事業の概要	国、県の動向を注視しながら、経常経費を抑制し、財源の効率的な運用を図る。			

2. 事業の実績 (Do)

令和6年度に実施した取組内容			
三国・丸林線道路改修事業や公共施設等適正管理推進事業などに地方債の発行を行い、財政負担の平準化を図った。町財政の健全化判断のため、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率及び将来負担比率を算定し、監査委員の審査に付し、その意見を付けて当該健全化判断比率を議会に報告した。			
業務開始年度	—		
	令和6年度(予算)		令和6年度(決算)
総事業費	0	千円	0 千円
	内 補助金等	0 千円	0 千円

3. 評価 (Check)

事業評価	
事業の成果・効果	地方債の発行を通じ、事業の安定的な実施と財政負担の平準化を行った。実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率及び将来負担比率を算定し、そのすべてにおいて早期健全化基準を超えていなかったため、健全な財政運営ができています。
事業の課題・問題点	早期健全化基準を超えると、財政健全化計画の策定が義務付けられ、さらに実質公債費比率が高まることで地方債の起債の制限も発生するため、財政課以外の職員にも財政健全化の意識付けやコスト意識の向上が必要である。中期財政計画の見直しから4年が経過するため、中期財政計画の更新を行い中期的な視点に立った財政運営を行う必要がある。

4. 今後の事業の方向性 (Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率及び将来負担比率の算定において、早期健全化基準を超えないよう財政の健全化に努める。 中期財政計画の更新の時期であるため、公共施設等総合管理計画や新たな事業を反映させた中期財政計画の見直しを行い、将来にわたって健全で持続可能な財政運営を行う。			

# 令和6年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要 (Plan)

事業	事業番号	事業名		
	304	町税徴収率の向上		
担当課	税務課		担当係	徴収係
総合計画基本計画の 位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	5. 協働+idea	(4) 行財政		① 安定した行財政運営
事業の概要	課税客体の的確な把握と、徴収率の向上に努める。			

## 2. 事業の実績 (Do)

令和6年度に実施した取組内容				
口座振替による納付の推進を行う。コンビニエンスストアでの納付、オンライン決済サービスによる納付、地方税共通納税システム統一QRコードによる納付など、納付方法の利便性を推進した。 滞納者に対して、督促状・催告書の発送、納税相談、財産調査、差押等により効果的な滞納整理を実施する。				
業務開始年度	平成28年度			
	令和6年度(予算)		令和6年度(決算)	
総事業費	5,284	千円	4,636	千円
	内 補助金等	0	0	千円

## 3. 評価 (Check)

事業評価	
事業の成果・効果	計画的な文書催告、納税相談等の滞納整理事務を適切に行ったことにより、現年課税分及び滞納繰越分の徴収率は、一般会計で98.8%(前年度:98.6%)、国保会計で92.8%(前年度:92.2%)であり、県税への職員派遣がなかったものの前年度と同程度で推移した。
事業の課題・問題点	当初賦課や確定申告時は特に徴収以外の業務が多忙となるため、滞納整理業務が円滑に実施できるよう計画的な進行管理を努めていく必要がある。納期限内納付の啓発を積極的に行い、滞納者への滞納整理事務を佐賀県税事務所とも連携して取り組み、自主財源の確保及び滞納繰越額の減少に努めていく必要がある。

## 4. 今後の事業の方向性 (Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価】 税負担の公平性確保は重要である。税務調査等により滞納者の担税力を把握し、早期に滞納整理事務に取り組み、滞納の早期解消に努める。  【第2次評価】 現状に甘んじることなく、徴収率の向上に努めること。			

## 令和6年度事務事業評価シート

### 1. 事業の概要(Plan)

事業	事業番号	事業名		
	313	社会保障・税番号制度に伴う基幹系システム改修事業		
担当課	企画政策課		担当係	広報・情報管理係
総合計画基本計画の 位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	5. 協働+idea	(4) 行財政		① 安定した行財政運営
事業の概要	社会保障・税制度の効率性、透明性を高め、住民にとって利便性の高い公平・公正なシステムを運用する。			

### 2. 事業の実績(Do)

令和6年度に実施した取組内容					
社会保障・税制度の効率性、透明性を高め、住民にとって利便性の高い公平・公正なシステムを運用した。					
業務開始年度		平成28年度			
		令和6年度(予算)		令和6年度(決算)	
総事業費		6,977	千円	6,977	千円
		内 補助金等	3,876	千円	3,876

### 3. 評価(Check)

事業評価	
事業の成果・効果	社会保障・税番号制度が支障なく運用できている。
事業の課題・問題点	マイナンバーに関するサービスは拡大しており、安全・安定したサービス提供のために、今後も堅実なシステム運用を行う必要がある。今後国の新システムの更改は予定されているが、町への制度導入に伴うシステム改修は完了したため、事業は完了とする。

### 4. 今後の事業の方向性(Action)

事業の方向性	第1次評価	完了	第2次評価	完了
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 マイナンバーは重要な個人情報であり、堅固なセキュリティが求められる。経年による機器やシステムの不具合により、業務に支障が出ることがないように、早めのメンテナンスや更改に留意する。また、国の制度改正などが頻繁に行われるため、情報取得に注力し、早めに対応できるように努める。			

令和6年度事務事業評価シート

1. 事業の概要 (Plan)

事業	事業番号	事業名		
	321	エルタックスシステム事業		
担当課	税務課		担当係	住民税係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	5. 協働+idea	(4) 行財政		① 安定した行財政運営
事業の概要	地方税における手続きを電子的に行うエルタックスシステムを運用し、納税者の利便性の向上及び課税事務の効率化を図る。			

2. 事業の実績 (Do)

令和6年度に実施した取組内容			
個人住民税に関する給与支払報告書や法人住民税に関する申告書、固定資産税(償却資産)に関する申告書などがエルタックスシステムを経由し電子データで届いている。地方税共通納税システムを利用した納税も年々増加している。令和6年度から、個人住民税の特別徴収分について、希望する事業所へ事業所用納税通知書及び個人用税額通知を電子データ送付することを開始した。			
業務開始年度	—		
	令和6年度(予算)		令和6年度(決算)
総事業費	3,599	千円	3,137 千円
	内 補助金等	0 千円	0 千円

3. 評価 (Check)

事業評価	
事業の成果・効果	エルタックスシステムを利用した電子申告や地方税共通納税システムを利用した納税を確実に受け取ることができた。 なお、申告書などの各種課税資料については、全体の80.6%にあたる18,102件をエルタックスシステムで受信した。
事業の課題・問題点	エルタックスシステムの利用率は年々増加しているが、今後も継続して増加するように、税目の拡大などについて適切に実施していく必要がある。

4. 今後の事業の方向性 (Action)

事業の方向性	第1次評価	拡大	第2次評価	拡大
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	【第1次評価・第2次評価】 今後は、地方税の確定申告書、諸手続きの申請の電子化などが予定されているため、本事業を継続する必要性がある。			

# 令和6年度事務事業評価シート

## 1. 事業の概要 (Plan)

事業	事業番号	事業名		
	327	個人番号カードの交付		
担当課	住民課		担当係	住民係
総合計画基本計画の位置付け	基本計画	施策体系		具体的な施策
	5. 協働+idea	(4) 行財政		① 安定した行財政運営
事業の概要	個人番号法(マイナンバー制度)の導入に伴う、個人番号カード(マイナンバーカード)の交付事務を実施する。			

## 2. 事業の実績 (Do)

令和6年度に実施した取組内容				
<p>平日にマイナンバーカードを受取りに来られない住民の方に対し、第2・第4火曜日と土曜日に時間外交付(火曜日は19:00まで、土曜日は午前中)を行い、マイナンバーカードの交付率の向上を行った。また、マイナンバーカードを健康保険証として利用するための登録サポートも行った。</p> <p>「ふれあいフェスタ」において、マイナンバーカードの申請及び交付を行い、マイナンバーカードの普及と交付率向上に努めた。</p> <p>マイナンバーカードを受取りに来られていない方に、再通知を行い受取りの勧奨を行った。</p>				
業務開始年度	平成27年度			
	令和6年度(予算)		令和6年度(決算)	
総事業費	21	千円	13	千円
	内 補助金等	21	13	千円

## 3. 評価 (Check)

事業評価	
事業の成果・効果	マイナンバーカードを受取られていない方に対し、再通知を送付し受取りにきていただくことができた。 時間外でのマイナンバーカード申請補助をすることにより、住民の方のマイナンバーカード取得の向上を図ることができた。
事業の課題・問題点	健康保険証がマイナ保険証として利用が進んでいることやマイナンバーカードと運転免許証が一体化になるなど、マイナンバーカードの必要性と利便性を周知し交付率の向上を図る必要がある。 再通知を何度も送付しても取りに来られない方の対応が必要。

## 4. 今後の事業の方向性 (Action)

事業の方向性	第1次評価	継続	第2次評価	継続
今後の取組方針 (課題に対する改善等)	<p>【第1次評価】 今後も継続して、マイナンバーカードの受取りについて取りにきていただくよう、案内を行う。また、マイナンバーカードの必要性や利便性を周知して交付率の向上を図りたい。</p> <p>【第2次評価】 新規取得者に向けた啓発を行うこと。</p>			